

賢者は歴史に学ぶ～センター試験先輩からのアドバイス



松江北高 2019年3年生6・7R&補習科
2019年1月

※ゴシック体は複数回答のあったもの。注意したい。「賢者は歴史に学ぶ!」のです。よく読んで当日の心構えをしておきましょう。(八幡)

【事前準備】



- ・朝晴れていても傘を持ってきた方がよい。
- ・スノーブーツは逆に汗で足が冷たくなる。
- ・持ってくる教材は、必要最低限で、「テスト直しノート」などがよい。
- ・試験開始が遅いからといって遅く起きたりするのではなく、いつも通りの朝を過ごすことが大事。あまり早く行き過ぎると逆にソワソワする(特に理系)。
- ・直前は詰め込みすぎないほうがよい。

【第1日目教室外】

- ・朝早くに自習室に行こうと思っても、たいいてい人でごったがえしているの、行くなら早めに行くことよい。
- ・1日目は理系と文系の終わる時間が同じなので混む。
- ・女子トイレの待ち時間が長い。会場でない階のトイレが使えるならばそっちを使う方がよい。
- ・廊下にごみが敷かれているが、狭く勉強しにくい。
- ・試験会場の部屋と待機場所は意外と距離がある。
- ・待ち時間は長い上に窮屈である(待機場所は外の廊下だった)
- ・早く行かないと荷物を置く場所がなくなる。荷物の置き場は外。試験会場は中で温度差が激しい。



【第1日目試験会場】

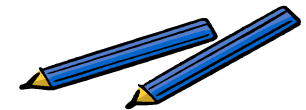
- ・試験と試験の間が長いので、リラックスするのもありだが、最後の確認をしっかりすることで解けた問題もあったので、時間に余裕があるならあがいた方がお得。

- ・リスニングは最後にまとめて転記できないので、マークは素早くかつ慎重に。
- ・どうしても眠くなったら栄養ドリンクに頼るのもいい。
- ・リスニングの際、横の人の音漏れがひどい。
- ・鉛筆を削ると少し心が落ち着く。
- ・トイレに行きたくなったら必ず行け。
- ・コーヒーを飲み過ぎるな(トイレが近くなる)
- ・信じられないバカなミスもある。
- ・1日目だけがセンターではない!
- ・足を前に出し過ぎると前の席の人にケリを入れることになる。注意。
- ・国語は同じ番号の答えが出ても自分の実力と割り切れ。
- ・試験前にアメをなめていると時間つぶしができる。
- ・チョコなど糖分取れるものは必要。
- ・英語リスニングの前は、過去問などを1.5~1.75倍速くらいで聞くとよい。YouTubeだと簡単に速度が変えられて良い。効果絶大!
- ・その日の最終教科くらいになると、ケアレスミスが疲れにより多くなるため慎重に。
- ・化学の試験の日の朝、友達と化学の問題を出し合っていたら、それが試験に出た。最後までやるのが大切。
- ・試験官も緊張する。
- ・試験官のミスが多く、かなり気が抜けた。
- ・エアコンの風が直撃し、問題用紙がめくれたり、寒いような気がしたり。
- ・既に進学先が決まった人が大きい声で話していることを気にはいけない。
- ・安いカイロをモミモミしていたら手が真っ黒になって焦ったから、品質の良いカイロを持って行った方がいい。
- ・椅子がかたい。座布団を持って行く必要。
- ・長机ではなくて、学校にあるような机だった。
- ・試験監督の人は敵ではないと思うべき。何でも質問する



- べき。
- ・室内の温度が高い。
- ・試験監督のしゃべり方によっては、始まる前までにもものすごく眠たくなる。
- ・一番前の席だと、監督者の圧力がすごい。
- ・おじさんがいる(30代~40代)。
- ・意外に緊張する。落ち着いて解かないと無意識にミスをしている。
- ・入室完了5分前になぜか全員座る。
- ・理科2科目で喉が大分かわく。
- ・マスクは乾燥予防にもなる。マスクをしていない人は多い。
- ・ゴミ箱がなかった。
- ・他校の生徒は大声で感想を言う。
- ・休憩時間は思ったよりも短い(問題の回収・配布に時間が取られる)。
- ・後ろの机と自分の椅子がくっついていて、消しゴムの振動が伝わってきた。
- ・どこへ行っても誰かが答え合わせをしているのでイヤホンが必要。
- ・周囲の鉛筆の音などに心を惑わされないようにする。自分のことに集中。かなり気になる。

【第2日目】



- ・数学は困ったら3か2。
- ・センター試験の2日間はとて長いので、友達とはしゃいだりして、ムダな体力は使わない方がよい。
- ・2日目の数学ⅡBの前は、最後の教科の前ということもあり、みんな浮かれているので、とにかくシャットアウトして集中すべき。